

指導内容系統表例 2

1 はじめに

鹿児島県総合教育センターでは、教科教育研修課の研究テーマを「自ら考え判断し、表現できる力をはぐくむ学習指導の在り方～言語活動の充実を通して～」と設定し、平成21年度から22年度までの2年間で調査研究を進めている。

平成21年度は、この研究の具体的取組として、社会科、地歴・公民科における言語活動の充実のための視点を明らかにするとともに、「指導内容系統表」の見直しを行った。

2 指導内容系統表の見直し

自ら考え判断し、表現できる力を育成していくためには、単元における育てたい力を明らかにすることが大切である。また、これらの力を育成していくためには、各校種間で系統性を踏まえて指導に取り組む必要がある。

そこで、これらのことや言語活動の充実という視点を踏まえ、指導内容系統表の見直しを図った。

見直した点については、次の図のとおりである。

		小学校	中学校	高等学校
指導内容	学習指導要領の内容	この単元で押さえておきたい基礎的・基本的な知識について明記した。詳しくは「指導内容系統例 1」の指導内容系統表作成上の留意点を参照		
	押さえておきたい基礎的・基本的な知識			
充実させたい言語活動例		この単元で充実させたい言語活動例を新たに示した。		
育てたい力	自ら考え、判断する力	自ら考え判断し、表現できる力の育成という視点から、育てたい力について見直した。 学習指導要領解説に示された具体的内容や国立教育政策研究所の評価規準の例を参考にして作成する。		
	資料を活用し、表現する力			

3 指導内容系統表例

- (1) 単元「鎌倉時代」の指導内容系統表例
- (2) 単元「日本の工業」の指導内容系統表例
- (3) 領域「気候」の指導内容系統表例